

# 【 5 年】 国語科「単元まるごと活用」授業記録

単 元 名	人物のかかわり合いを読み、感想を書こう 教材名 「のどがかわいた」	
つきたい力	登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえて、作品についての自分の考えをもち、それを発表し合って広げたり深めたりすることができる。	
(学ばせたいこと) キーワード	○登場人物の関係の深まり ○登場人物の心情の変化 人物像・中心人物・対人物・関係の変化・事実と感想、意見	
学 習 材	「三つのお願い」 4下	
本時のねらい	人物のかかわりあいを読み、感想を書こう	
本時の課題	人物像とその関わり合いを読みとり感想を書こう	
授 業 展 開	つかむ	「情報の取り出し・理解」の活動場面 …「既習の学び」を意図的に活用 1 学んだことを生かして「三つのお願い」の登場人物の相互の関係を考えるよ。 ○登場人物 中心人物 対人物の確認 ○それぞれの人物像 ○関係の変化 を読み取っていくよ。
	考える 学び合う	「思考、判断、表現・記述する」の活動場面 2 登場人物の人物像をとらえよう レナ・ゼノビア…おこりっぽい いじわる 信じてない→友だち思い ビクター…やさしい 信じる人 相手の気持ちが分かる ゼノビアが中心人物、ビクターが対人物 3 二人の関係の変化を読み取ろう 二人の関係の変化は 仲良し (いつもいっしょが当たり前) → もっと仲良し 最後は、三つのお願いを使ってでも、もどってきてほしい。 友達の大切さがわかった。
	まとめる	「交流・確かめ」の活動場面 4 ノートにまとめたものを発表 ・ゼノビアは少しいじわるな人で、ビクターはやさしい人だ。二人は、友達の大切さを知ってより仲良しになってうらやましいと思った。わけは、いないと悲しくてしょうがないと思うほどの仲良しな人がだとわかったからです。
	板 書	
振り返り	・子どもたちは、中心人物や対人物のとらえやその人物像をとらえることができるようになってきている。何かの出来事をきっかけに関係が変化することも、この単元で認識できた子が多い。、自分の考えを持つことに個人差があるが、一步一步進んでいる。まとめ方については、教師側の工夫が必要である。	

